

1 1月市長定例記者発表要旨

と き 平成27年11月5日(木) 10時~11時

ところ 庁議室

1. 市制施行10周年記念事業「ドリーム・サッカー ~日本代表OBがやって来る! ~ in さいき」について

11月14日(土)、15日(日)の2日間、佐伯市総合運動公園で行われる「宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー~日本代表OBがやって来る!~ in さいき」について、参加する元選手が発表されました。

既に資料をお配りしておりますが、参加予定の顔ぶれは別紙のとおりとなっております。

2002年の日韓ワールドカップで活躍した森島寛晃^{もりしまひろあき}さん、サッカー解説でもおなじみの元日本代表ゴールキーパー小島伸幸^{こじまのぶゆき}さん、元鹿島アントラーズで大分トリニータにも在籍^{ますただ}した増田忠俊^{とし}さんなど、国内外で活躍した19人の元選手が佐伯に集まります。

初日の14日は陸上競技場で指導者クリニックが行われ、翌15日には、同競技場で少年少女サッカー教室や、元日本代表選手のドリームチームと佐伯市選抜チームとの試合などが行われます。

現在、入場整理券を、市役所本庁舎1階総合案内、各振興局、まな美1階体育保健課、市内の各B&G海洋センター、佐伯市総合体育館などで配布中です。

また15日には、「佐伯の店! コレうめ~な~市^{いち}」として、市内の飲食店が会場内に出店しますので、こちらもお楽しみいただきたいと思います。

2. 市制施行10周年記念「ふるさと佐伯観光交流事業」の開催について

11月21日(土)、22日(日)に東京で開かれる「第6回おんせん県おおいた地獄蒸しまつり in 東京タワー2015」において、市制施行10周年を記念し、「ふるさと佐伯観光交流事業」を開催いたします。

本事業は、佐伯の食と観光のPR及び誘客の推進に加え、関東圏在住の佐伯出身者に「ふるさと佐伯」を身近に感じていただくとともに、ふるさと納税のPRやふるさと特産品の紹介等を通じて、一次産品等の販売促進、都市と佐伯市とをつなぐ機会づくりを主な目的としております。

このため、関東佐伯会を始めとする郷土会の会員約2,200人の皆様や関係企業にご案内し、多くの佐伯出身者の方々にもご来場いただきたいと考えております。また、市民の皆様におかれましては、関東在住のご親戚、お友達などいらっしゃいましたら、ぜひご連絡していただきますようお願いいたします。

なお詳細については、別紙資料をご覧ください。

3. 「第3回ホールフードフェスタ in 佐伯」の開催について

11月22日(日)、大分県マリカルチャーセンターで、「第3回ホールフードフェスタ in 佐伯」

を開催します。

本市は、県下で唯一「食のまちづくり条例」を制定しており、幅広い分野で「食」に関する事業を積極的に展開しています。「ホールフードフェスタ」は、年間を通じて行われる数多くの食育事業の中でもメインイベントと位置付けられており、「食のまちづくり」の基本である「食育」について、皆様に楽しみながら学んでいただくものです。

「ホールフード」とは、安全・快適で健康的な生活を続けていくために、日常の食べ物はもとより、農林水産業や自然環境などについても、「食」を通じて気を配る暮らし方のことをいいます。

3回目となる今回は、サブタイトルを「映画で語る『いのち』の紡ぎ^{つむ}」としています。当日は、まず、今年1月に公開され、日本国内のみならずヨーロッパでも評判を呼んでいるドキュメンタリー映画「千年の一滴^{いってき} だし・しょうゆ」を上映します。その後、映画の各シーンを振り返りながら、ゲスト講師によるクロストークや参加者との語り合いを行い、最後に、市内で「食育」に取り組んでいる皆さんがスピーチリレーを行うという3部構成となっています。

今回も、ゲスト講師として多彩な顔ぶれをお招きいたします。「ホールフード」の生みの親である料理家のタカコ・ナカムラさん、「千年の一滴 だし・しょうゆ」を制作した柴田昌平^{しばたしょうへい}監督、「はなちゃんのみそ汁」の著者・安武信吾^{やすたけしんご}さん・はなちゃん親子など、食育や「いのち」を紡ぐ活動に身を置く方々が、「食のまち佐伯」に集結いたします。

また、会場ロビーでは、環境にやさしい生ごみリサイクルによる野菜作り「菌^{きん}ちゃん野菜づくり」の紹介や、食育事業の事例発表・展示会等も行われる予定です。

詳しい内容は、別紙の資料をご覧ください。